

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		昭和62年度		根拠法令・例規等		
事業開始年度						
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 合 先 先 電 話 このシート作成に要した時間	
	中項目	基本計画	08	快適な生活が送れるまち		担当課(室)
	小項目	施策	33	生活排水の適正処理		下水道課
事務事業名	04	水洗化普及事務			職・氏名 業務係長 岩崎和久	
					電話 66-9701	
				2.0 時間		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	下水道処理区域内の排水設備設置義務者		
目的(何のために)	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、下水道処理区域内の家屋、事務所等の下水道への接続の促進を図る		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水洗化率の向上		

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			Do	
細事業名	事業の説明	優先度		
啓発事業	広報紙への記事掲載および未接続者への啓発訪問	◎		
水洗便所改造資金融資あっせん事務	水洗化工事費に対する銀行融資のあっせん和利の一部補給	○		
目的を達成するために実施した事業				

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	12	12	5
	必要人員	人	0.25人	0.11人	0.06人
	必要人員	人	1,271	873	475
	事業費	千円	1,283	885	480
財源	国県支金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
市債					
その他()					
一般財源		1,283	885	480	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	融資あっせん利子補給件数	説明	融資あっせん利子補給を行っている件数		
	結果指標	量	5	3	3
	対前年比	%	-	60.0%	100.0%
	活動コスト	円	1,282,800	885,000	480,000
単位当たりコスト		256,560	295,000	160,000	

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
水洗化率	成果指標名	目標値(A)	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
		実績値(B)	91.6%	91.2%	90.6%	到達目標値
		達成率(B/A)	101.78%	101.33%	100.67%	100%
成果指標設定の考え方・式や説明						
水洗化人口/下水道処理区域内人口						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		B

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H26年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成25年度は平成17~18年度供用開始区域で未接続の100世帯に臨戸訪問を実施、平成26年度も引き続き臨戸訪問により水洗化の普及を図る					

総合評価		総合評価	
下水道整備の目的である生活環境の改善、公共用水域の保全を図るには、水洗化の啓発活動は重要である。		ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C

平成27年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	引き続き普及促進を図っていく					

Action